

会 議 録

会議の名称	第1回飯塚市男女共同参画推進委員会
開催日時	平成27年6月15日（月）14：04～16：04
開催場所	立岩公民館 3階 中研修室
出席委員	梅野麗子委員、川原利三委員、萬田喜利委員、今中啓喜委員、佐藤祐子委員、久田幸子委員、白瀧登美子委員、白石リヨ子委員、畑中規一委員、奥野美代子委員、梅野政則委員、村山ふみ代委員
欠席委員	木の原元美委員、久原千景委員
事務局職員	男女共同参画推進課長、企画担当主査、業務係長
会議内容	<p>1. 新委員及び事務局職員紹介</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 【議題】</p> <p>（1）第2次飯塚市男女共同参画プラン策定に係る市民意識調査について <事務局、コンサルより説明></p> <p>Q：問1の性別で男性と女性しか挙げていないがそれで良いのか。調査票全体的にルビをふっていない。その審議を頂きたい。</p> <p>A：最近空白にしておいて自分の性を書くという流れになっているが、アンケートの場合は書かなかった人が多いと正確な集計にならない、ということがあるのでこの表記で良いと思う。</p> <p>Q：ルビ打ちがあるのとないのとではどう違うのか。</p> <p>A：作る方からすると作業が増えるということがある。知的障がい者の方への調査票や一部の地域福祉計画策定に関する調査票にルビ打ちをしたが、男女共同参画の調査票では無かった。ルビ打ちをすると文字数が増え、行間も詰まり、全体として字数が増え重たい感じになる。アンケートを受け取った方がどう感じるか。ルビを打つ事で回答しやすくなる方がどのくらいいるのか、無視できない数であれば当然見にくくても打たなければならないという判断になる。</p> <p>A：漢字を読むのが難しいという方が一人でもいらっしやればしなくてはいけないと思う。</p> <p>A：無作為抽出でアンケートをお願いするので、どなたにも気軽に書いてもらうにはルビがあったほうが優しい感じがする。</p> <p>Q：ルビをふった調査票のサンプルがほしい。</p> <p>A：ページを選んでサンプルページを提出する。</p> <p>Q：4ページの問8で男性が育児休業を取れるためにはどうしたらよい</p>

か、という項目をもう一つ設けるべきではないか。

A：回答「1. 取った方がよい」「2. どちらかといえば取った方がよい」と答えた方を取るためにはどうしたらよいか、と回答を求めるかたち、イメージか。全員に聞くより設問の流れの中でそういう形の方がいいような気がするが、別の意見があれば検討する。

Q：法律で決まっているのなら取りやすい方法をどうしたらいいか聞いたほうがよいのでは。

A：全員に聞くということ。考え方としてはどちらも成り立つ、法律で認められているにも関わらず取得されていないという実態はあるので、前提として全員に聞くというのもひとつの手だとは思う。

Q：就労について問われているので、取れない理由は何ですかと問う方が早い。もう少し踏み込んでもよいのでは。

A：事務局との事前の打ち合わせの中で男性が育児休業を取る事について率直にどう思うかというのを訊ねたらどうかという話でこの問8の設問を設定した。

Q：取ったほうがいいのかどうかではなく、取れない理由は何かという意識調査をするべきではないか。

問4のイ. 男らしく、女らしくとなっているのは奇異に感じる。

A：問8は流れに沿っているのでこれで良い。

A：問8で育児休業を取る事によって何が変化するのか、取っていない状態から取ったことによってどういう変化を期待できるのかという意識を聞くのは意味があるように思う。

A：今の法律が浸透していない理由は何か。1. 取る必要がある、というのはどうか。

A：問4の男らしく、女らしく、というのは、10年前も同じような設問をしていて、数的に比較していくために採用した設問。

A：らしくという表現はどうか。

<調査票後半についてコンサルより説明>

Q：全体で質問はあるか。

Q：10年前との比較したほうがいいのではないか。

A：比較できるものは残している。若干表現が変わっているところもあるが。

Q：問1の家族構成は本人を含めて何人、というように人数だけではだめか。

A：人数だけでは参考になりにくい。

(2) 平成27年度事業計画について

○業務部門

サンクスの事業について

<事務局より説明>

○企画部門

男女共同参画推進委員会の開催等について

<事務局より説明>

(3) その他

・日本女性会議参加者について

日程：10月9日（金）、10日（土）

場所：岡山県倉敷市

・平成26年度飯塚市男女共同参画推進委員会提言書について

・飯塚市女性人材バンクの登録状況について

・第2回飯塚市男女共同参画推進委員会の開催について

・意見交換

<事務局より説明>

Q：進捗状況の運び方。事前に質疑。提言書に至る過程が見えない。推進委員会を部門別に分けてグループで検討していくとか、しているところもある。そのような工夫の案を次回までに出してほしい。評価項目までできたので。

A：検討して7月13日に示す。13日に報告書を配布する。10月に予定している推進委員会までに質問事項等の検討、勉強会等を開催していく。

Q：それぞれ簡単に一言ずつお願いし、意見交換とさせて頂く。

A：次に意見が言えるように勉強してきます。

A：先を見越したものを作らなければならないだろうと思う。

A：去年から参加してよく分からないこともある、勉強させて頂いて意見できるようにしたい。

A：女性人材バンク、たくさん増えるように頑張りたい。

A：意見が出るような時間が欲しい。

A：お願いとして議事録を取れるように環境設定してほしい。人口構成のところで3,000人の無作為抽出となっているが疑問に思う。

A：ここで学んだことを少しでも心に反映させたい。農業女性中心に1,000人集めて男女共同参画の講演を行った。タクシーの運転手さんに男女共同参画の勉強会だと言ったら、男女の三角関係の勉強会と勘違いされていた。理解していない人もまだまだたくさんいる。「めざせ！家事達人！」などが行われていることを理解していただこうと思っている。

A：男らしく、女らしくという育ちをしてきて、どこまで女性が進出していけるのかよく分からない、勉強していきたい。

A：小学校では1年生から男らしく女らしくではなく、それぞれの個性、

	<p>人間らしさを大切にした教育や基本的人権などを学習しているが、社会に出ると女性は参画率が低くなっている、なかなか意識が変わらないと思う。アンケートの結果から市民の意識を変えるような取り組みを一緒に作っていききたい。</p> <p>A：アンケートの件で、立ち位置が2面あると感じる。10年前との比較、法律が変わってからの今。アンケートで誘導することもできるのではないか。行政の方で整理してほしい。補足するなど。</p> <p>A：意見が沢山出た。いい方向へ、プランに繋がっていくようにしたい。意見を多く出してほしい。</p> <p>A：畑中委員の疑問点、立ち位置の件、7月13日に事務局説明いただきたい。</p>
会議資料	<p>① 次第</p> <p>② 委員名簿</p> <p>③ 男女共同参画に関する市民意識調査票の案</p> <p>④ 資料2・平成27年度男女共同参画推進課事業計画</p>
公開・非公開の別	<p>① 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者6人)</p>
その他	